

学 校 経 営（令和4年度）

岩倉中学校

＜みまっこ宣言＞

- 友だちが困っている時、見て見ぬふりをしないで助け合いのできる子ども
- 何事にも根気強くがんばれる子ども
- していいことか、わるいことかよく考えて行動できる子ども
- たったひとつしかない自分の命、他人の命を大切にできる子ども
- 自分の町のよさを知り、大好きになれる子ども

『みまっこ宣言』は、美馬市内の児童生徒たちの行動憲章となる「めざす子ども像」をうたったものです。平成18年11月2日に穴吹農村環境改善センターで開催された「美馬市教育振興大会」で制定されました。

子どもだけでなく、大人もこの宣言をかみしめ、子どもの成長を支えていきます。

◎ 岩倉中学校『経営方針』

生徒が主役，地域に開かれ信頼される学校

- ・生徒一人一人が常に目標を持ち、その実現をめざして意欲的に取り組む学校
- ・基礎・基本を重視し、その定着を図るとともに、課題解決の力を養い、社会の変化に対応できる生徒を育成する学校
- ・保護者や地域と連携した教育活動を推進し、説明責任を果たせる学校

1 教育目標

生きる力をそなえた、実践力のあるたくましい生徒の育成
～ 心身ともに健康でたくましく、生活習慣の基本を身につけ、自ら考え判断し、進んで行動できる生徒の育成 ～

2 校 訓

清 新 ～日に新たに、日に進む～

☆ 教育活動は、教育目標の具現化のために行われるものである。

3 めざす生徒像

- ★ 心豊かで、自ら学ぶ力を身につける生徒
- ★ 勤労を重んじ、自ら考え、進んで実践できる生徒
- ★ 心身共に健康で活力があり、集団生活に貢献できる生徒
- ★ お互いの良さを認め合い、自他の人権を尊重する生徒
- ★ 礼儀正しく、明るく挨拶ができる生徒

4 めざす教師像

- ★ 生徒理解に努め、生徒一人一人を大切にせる教師
- ★ 教育に情熱と愛情を持って取り組み、生徒たちと厚い信頼関係ができる教師
- ★ 保護者、地域住民から信頼され敬愛される教師
- ★ 常に研修に励み、指導方法の改善を図る等、指導力の向上に努める教師
- ★ 服務規律を遵守し、地方公務員としての使命感、責任感を持った教師

5 本年度の努力目標

(1) 生徒に学力，生きる力をつける。

① 教科教育の充実

- 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るとともに、それらを活用する力を育成する。
- 個に応じた指導を重視するとともに、ICTの利活用等の指導方法の改善に努める。
- 向上心を持ち、自ら学習計画を立て、意欲的に学習しようとする習慣をつける。

② 特別支援教育の充実

- 特別支援学級の運営を核として、学校全体で特別支援教育を推進する体制を確立する。
- 個々の教育的ニーズを把握し、適切な指導や支援を行うことにより、学力の向上や生きる力の育成に努める。

- ③ 進路指導の充実、職場体験学習
 - 自己の個性を理解し、その伸張に努め、目的を持って主体的に進路を選択し、計画的に進路学習に取り組むことのできる生徒を育てる。
 - 職場体験学習などの活動を通して、勤労観・職業観を育成する。
- ④ 特別活動の充実
 - 望ましい集団活動を通して、存在感や自己実現の喜びを味わわせ、より良い生活や人間関係を築こうとする自主性や実践的な態度を育てる。
 - 豊かで潤いのある学校生活を工夫し、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。
- ⑤ 国際理解教育の推進
 - 広い視野とともに、異文化に対する理解や異なる文化を持つ人々とともに協調して生きていくことのできる生徒を育成する。
- ⑥ ICT教育の推進
 - 生徒自身にICTを活用させる機会を増やし、発展する情報社会の中で、ICTを問題解決に的確に活用し、情報を収集・編集・判断・発信できる生徒を育てる。
 - ICTの利活用を通してコミュニケーション能力の向上を図るとともに、情報モラルの考え方や態度の育成を図り、情報社会における正しい判断や望ましい態度を育てる。

(2) 生徒の心を豊かに育てる。

- ① 人権教育の充実「自他の人権を尊重する心の育成」
 - 教育活動全体を通じて、徳島県人権教育推進方針に基づく人権教育を推進する。
 - 人権CMづくりを通して、生徒および保護者と共に人権問題に向けて取り組む。
 - 教職員が自らの使命を自覚し、日常生活における人権上の問題点を見抜き、人権問題を自分の問題と捉え、自らの意識改革を図る。
- ② 生徒指導の充実
 - 教師と生徒の人間的な触れ合いを密にし、信頼感に満ちた生徒指導を推進する。
 - 教育活動全体を通して、一貫性のある指導に努める。
 - 関係機関などとの連携を図るとともに、生徒理解を深め、教育相談などの充実に努める。
- ③ 道徳教育の充実
 - 道徳の時間を中心に、全教育活動を通じて道徳的实践力を養う。
 - 豊かな体験を通して、道徳的価値や人間の生き方についての自覚を深め、内面に根ざした道徳性の育成を図る。
- ④ 健康安全教育の充実
 - 健康や安全に対する意識を高め、自他の生命を尊重しようとする態度を育成する。
 - 生徒および教職員のメンタルヘルスの充実に努める。
- ⑤ 課外活動の充実
 - 部活動等の課外活動を通して、行動力、実践力、創造性、忍耐力、連帯感などの向上を図る。

(3) 信頼され、開かれた学校をつくる。

- ① 気持ちの良い挨拶や返事の奨励
 - いつでも、どこでも、誰にでも、明るく元気で大きな声で挨拶や返事をする生徒を育てる。
- ② 総合的な学習の時間、情報教育の推進
 - 体験的活動を積極的に取り入れ、主体的に判断し、より良く問題解決しようとする能力や態度を育てる。
 - 課題の解決や探求活動に主体的・意欲的に取り組み、自己の生き方を考えることができる生徒を育成する。
 - 花づくりなどの勤労体験学習を通して、勤労の喜びと連帯感を高めるとともに、豊かな心情を育成する。
- ③ 環境教育と福祉ボランティア活動の推進
 - 環境問題への理解を深め、環境を保全し、共生をめざす意欲と態度を養う。
 - 福祉・ボランティア活動への取組を通して、お互いの人権を尊重し、思いやりの心で共に生きる社会の実現をめざす生徒を育成する。
- ④ 開かれた学校づくり
 - 保護者や地域の方々の意見に耳を傾けながら、地域に開かれ信頼される学校づくりを進める。
 - 学校ホームページを活用するなど、子どもや保護者、地域社会への情報提供を積極的に行う。

※ 教員は、教育の専門家として、常に研究・研修に励み、努力をおこたらない。